

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
クリニカルリーズニング	PSP24-001	必修	1	理 2 リ 3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
粕山 達也 他	D311	kasuyama	水曜日 10:40-12:10		
授業の目的・概要	理学療法を遂行する上で必要となる対象者の問題点の抽出方法について学習する。演習を中心に、臨床思考方法について理解を深め、模擬症例を通じて必要な評価項目の抽出、目標設定、プログラム立案等の理学療法評価に関する総合的な思考法を身に付ける。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	専門基礎科目および理学療法評価学の内容を復習しておくこと。また、専門基礎科目の整形外科学、神経内科学、内科学について理解を深めること。グループワークでは積極的に発言すること。				
教科書	特になし				
参考書	各疾患系理学療法評価演習・理学療法評学・整形外科学・内科学・神経内科学で使用している教科書				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	問題点の抽出方法について理解し、説明できる			RH (2)、(3)、(5)	
②	目標設定、プログラム立案方法について理解し、説明できる			RH (2)、(3)、(5)	
③	中枢神経系疾患の臨床思考方法について理解し、説明できる			RH (2)、(3)、(5)	
④	運動器系疾患の臨床思考方法について理解し、説明できる			RH (2)、(3)、(5)	
⑤					
⑥					
授業計画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	クリニカルリーズニングの概要を学ぶ。 [担当] 粕山達也	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
2	理学療法におけるクリニカルリーズニングとは [担当] 粕山達也	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
3	中枢神経系疾患①におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。 [担当] 高村浩司	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
4	中枢神経系疾患②におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。 [担当] 三科貴博	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
5	中枢神経系疾患③におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。 [担当] 福田京佑	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
6	中枢神経系疾患④におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。 [担当] 粕山達也	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
7	運動器系疾患①におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。 [担当] 関口賢人	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
8	運動器系疾患②におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。 [担当] 源裕介	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
9	運動器系疾患③におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。 [担当] 坂本祐太	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
10	運動器系疾患④におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。 [担当] 石井智也	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
11	内部障害系①におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。 [担当] 関根聡美	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
12	内部障害系②におけるクリニカルリーズニングを学ぶ。 [担当] 粕山達也	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
13	訪問リハビリテーションにおけるクリニカルリーズニングを学ぶ。 [担当] 粕山達也	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
14	通所リハビリテーションにおけるクリニカルリーズニングを学ぶ。 [担当] 粕山達也	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
15	総括 [担当] 粕山達也	講義・実技	配布資料を中心にまとめる。	1	
試	定期試験				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40	
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
問題を発見・解決する力		30	0	0	0	0	30	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	各専門分野における筆記試験を行う。				結果の返却または開示	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	高村 浩司、三科 貴博、関口 賢人、関根 聡美、源 裕介、坂本 祐太、石井 智也、福田 京佑							
教員の実務経験	理学療法士（臨床経験 19 年） 整形外科クリニック 6 年 訪問リハビリテーション 12 年 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（臨床経験 19 年、資格取得後 8 年）							
実践的授業の内容	病院や介護施設での理学療法士の実務経験を基に、正確な検査・測定技術を身に付けられるように指導を行う。*実技を実施する際は、動きやすい格好で参加すること。実技テストを行うときには実習着を着用し身だしなみに注意すること。							
そ の 他	*全て対面授業で実施する予定である。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。今後の感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。							